

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2022年6月号

CONTENTS

- ◇ 【 バンコク通信 】 ～タイの自動車産業～ P.2～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューズピックアップ 】 P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2022年6月～2022年8月 P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 P.8～

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所
63 Market Street #11-03
Bank of Singapore
Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

足利銀行バンコク
駐在員事務所
689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,
27th Floor, Room
No.2714, Sukhumvit
Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok
10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所
5th Floor, Sun Red
River,
23 Phan Chu Trinh
Street,
Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



常陽銀行



足利銀行



めぶきフィナンシャルグループ

【バンコク通信】タイの自動車産業 ～タイの自動車市場と進むEVシフト～

足利銀行バンコク駐在員事務所
五津 徳昭

～はじめに～

タイは、日本車の牙城と呼ばれ、日系自動車メーカーが高いシェアを獲得しています。しかし近年では、中国メーカーの電気自動車（以下、EV）が徐々に浸透しており、タイ政府も環境規制強化やカーボンニュートラルに向けた方針を表明し、今後EV市場の拡大を後押しする可能性も出てきています。そこで今回は、タイの自動車市場の概要とEVについてレポートいたします。

1. タイの自動車市場の概要

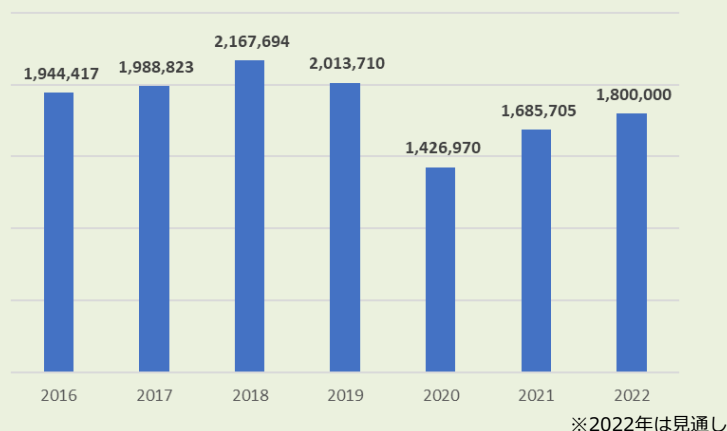
▶ 2021年の自動車生産台数は回復、新車販売台数シェアは日系自動車メーカーが上位

タイ国内における2021年の自動車生産台数は168.5万台となり、生産台数が大きく落ち込んだ2020年比で約18%の増加となりました。一方、新型コロナウイルス感染拡大や半導体不足等の影響を受け厳しい状況が続いたこともあり、年間の生産台数が200万台を超えていたコロナ禍前には戻っていない状況です。

足許の2022年の生産台数の見通しは180万台を見込んでおり、着実に回復してきています。

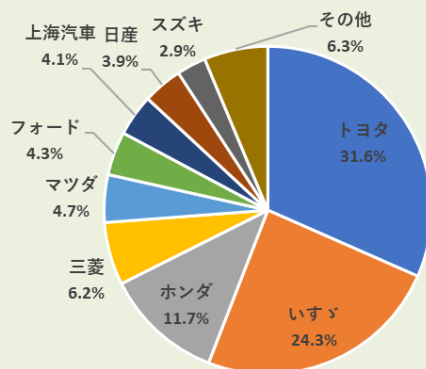
タイの自動車生産は約40%が輸出向けとなっていることが特徴で、車種別に見ると乗用車が60万台、商用車が108.5万台となっています。さらに商用車の大半はピックアップトラックが占めており、タイをはじめ東南アジアやオセアニアで非常に人気があります。

【図1】年間生産台数の推移 (単位：台)



出所：タイ工業連盟資料より作成

【図2】自動車販売シェア (2021年)



出所：トヨタモータータイランド資料より作成

タイ国内の新車販売では、市場シェアの87.5%を日系自動車メーカーが占めています（2021年）。内訳は、トヨタ自動車販売台数23.9万台（シェア31.6%）と首位に位置し、2位がいすゞ自動車で18.4万台（24.3%）、3位本田技研工業、4位三菱自動車工業、5位マツダと日系自動車メーカーが続いています。

タイ国内全体の自動車販売台数は、コロナ禍前の2019年は100.8万台だったものの、コロナ禍の2020年には79.2万台と減少し、2021年は世界的な半導体不足による生産台数の減少も重なり75.9万台と更に減少しました。2022年については、市場回復により全体の自動車販売台数は86万台となる見通しです。

2.タイのEV市場の現状

▶タイ国内では徐々にEVの普及が進む

2021年のEVの新車販売台数は4.3万台で、前年比41%増と大幅に伸長しました。内訳はハイブリッド車（HEV）とプラグインハイブリッド車（PHEV）の合計が前年比約40%増の4.1万台、バッテリー式電気自動車（BEV）が約50%増の0.2万台です。EVは新車販売台数の5%程度のシェアながら、国内の新車販売台数が75.9万台（前年比約4%減）と減少するなかでは、徐々にEVの存在感が増してきていると言えるでしょう。

▶タイのEV市場は中国メーカー2社でシェア70%

新車販売シェアや販売台数では日系自動車メーカーが上位を占めていますが、EVのカテゴリーでは中国メーカーの上海汽車（MG）と長城汽車（GWM）が積極的に事業展開しています。この2社がEV市場の70%程度のシェアを占め、充電ステーションの設置についても独自で整備に乗り出すなど、EV市場を積極的に開拓する姿勢をみせています。

実際にバンコクで生活をしていると、街中を走る中国メーカーのEVや充電ステーションを見かける機会が増えてきています。



長城汽車がバンコク都心部に開設した急速充電ステーション（筆者撮影）

▶中国メーカーのEVは日系自動車メーカーのEVの半額程度

タイはアセアン最大の自動車生産国ですが、EVの生産は未だ手掛けておらず、輸入車の販売がメインとなっています。

中国メーカーは、タイとの中国アセアン自由貿易協定（ACFTA）でEVを関税ゼロで輸入できるのに対し、日本からは20%の関税が課されています。中国メーカーEVの価格面の優位性が、中国EVの普及の一因となっていると考えられます。

【表1】日中自動車メーカーの主力EV比較

各メーカーの主力EV	価格	バッテリー容量	走行距離
日産「リーフ」	約150万バーツ (約540万円)	40kWh	311km
トヨタ「bZ4X」	未定	71.4kWh	500km
上海汽車「MG EP」	約76万バーツ (約274万円)	50.3kWh	380km
長城汽車 「欧拉好猫」	約83万バーツ (約299万円)	47.8kWh	400km

出所：各メーカーHPより筆者作成

3.環境規制強化とEV化推進

▶環境規制強化によるEVの普及拡大

タイの自動車市場では、ガソリン車が今でも圧倒的なシェアを占めていますが、タイ政府による環境規制の動きがEVを更に普及拡大させる可能性があります。2021年1月には、バイオ・循環型・グリーン（BCG）経済を国家戦略モデルに据えることが表明され、タイ投資委員会（BOI）は、BCG経済分野の民間企業に対する投資優遇措置を提供しています。また、2050年までにカーボンニュートラル、2065年までにネット・ゼロ・エミッションを推進する方針も表明しており、国全体で環境問題に対する意識が高まっています。

▶EV化推進策による更なる普及の可能性

タイ政府は環境政策とともに、自動車のEV化を積極的に進めています。2020年3月には、5年以内にタイがアセアンのEV生産のハブになることを目標に掲げました。さらにタイ国内の自動車生産台数に占めるEVの割合を、2030年までに30%へ引き上げることを目指しています。具体的には、タイ国内におけるEV生産の目標台数を年間143万4,000台とし、国内自動車生産全体の中で有害物質を全く排出しないゼロエミッション車のシェア30%を目標としています。

更に2022年から2025年まで物品販売に対して課税される物品税率の引き下げ（乗用車の場合8%→2%）やEVの電池容量に応じた補助金の交付（7万バーツ（約245千円）または15万バーツ（約525千円））等、EV購入に対しての振興策も施されています。

【表2】EV奨励パッケージの概要

		乗用車（低価格）	乗用車（高価格）	ピックアップ
対象		・ 価格200万バーツ以下 ・ 現地生産（予定）車	・ 価格200万バーツ超 700万バーツ未満 ・ 現地生産（予定）車	・ 価格200万バーツ以下 ・ 現地生産（予定）車
恩典	補助金	7万バーツまたは 15万バーツ	なし	7万バーツまたは 15万バーツ
	輸入関税 (2022~23年)	最大40%引き下げ (現行：日本車20%、韓国車 40%、欧州車80%)	20%引き下げ (現行：日本車20%、韓国車 40%、欧州車80%)	なし
	物品税 (2022~23年)	2%へ引き下げ (現行8%)	2%へ引き下げ (現行8%)	0%へ引き下げ (現行3~12%)
条件		・ 2024年に現地生産を開始：22~23年の輸入完成台数と同数 ・ 2025年に現地生産を開始：22~23年の輸入完成台数の1.5倍等		恩典を得る年から 現地生産開始等

出所：コンサルティング会社資料等より作成

▶日系自動車メーカーのEV戦略

中国メーカーは、タイ政府のEV普及の目標達成に向けて2023年にタイ国内でEV生産を開始するなど、協力要請に応じる形で積極的なEV戦略を打ち出しています。一方、日系自動車メーカーは2022年以内にEVの新モデルの投入を発表していますが、タイでのEV生産については、市場規模や充電インフラ整備の遅れからまだ時期尚早とみており、慎重な姿勢を見せています。日系自動車メーカーがタイでのEV生産に慎重となる背景には、新興国での根強い需要があるガソリン車の輸出拠点として残したい思惑もあるためとも言われています。

4.おわりに

日本車の牙城と呼ばれ日系自動車メーカーが高いシェアを有するタイの自動車市場ですが、中国メーカーEVの普及拡大、タイ国内でのEV生産開始が脅威となっています。日系自動車メーカーはEV対応でやや出遅れが否めない状況にあります。さらに、世界的なEVシフトやカーボンニュートラルへの取組みによってタイの自動車市場は大きな転換期を迎えています。日系の自動車部品メーカーやその関連企業への影響も多大にあると考えられるため、今後も自動車産業の動向を注視していきたいと思えます。

【シンガポール】～約2年ぶりに隔離なしでの往来再開～

規制緩和が進むシンガポール。シンガポールの中心部からマレーシアのジョホールバル（JB）までは、スムーズに行けば陸路で1時間以内に入国出来ます。2020年3月以降、コロナの流行により国境が閉鎖されていましたが、2022年4月からはワクチン接種済みであれば、隔離なしでの往来が可能となり、以前のように物価の安いマレーシアでマッサージや焼肉、お買い物（日系ショッピングモール）が日帰りで楽しめるようになりました。5月初旬はシンガポールが4連休ということもあり、マレーシアへ帰省する人や多くの観光客でシンガポールとJBを結ぶ橋が混雑している様子を、ニュースやSNSなどのメディアが取り上げていました。

パスポートの存在を忘れるほど行動が規制されていた2年半でしたが、リハビリには日帰りJBが良いのではないのでしょうか。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【シンガポールから見たジョホールバル】



【筆者撮影】

【ダラットのいちご】



【筆者撮影】



【ベトナム】～ダラットでいちご栽培中！～

ベトナム南部ホーチミン市から車で5時間ほどの場所に高地の街、ダラットがあります。ダラットは標高1,500m近くと、日本であれば軽井沢のような気候のためさまざまな野菜・果物が栽培されています。中でもいちごはダラットの特産品として全国的に有名で、ダラットの山間に沿って多くのハウスが見られます。

ベトナムの果物は酸味が強く、味の変化を楽しむために塩をつけて食べることも一般的です。いちごも例外ではなく、日本の品種よりも酸味は強いですが、安くておいしいいちごはベトナムでも人気があります。最近では日系企業が技術指導をされており更なる品質向上を目指しています。

常陽銀行ハノイ駐在員事務所
駐在員 関 一平

【タイ】～高速道路の新システム「M-FLOW」～

タイの高速道路の料金所では、ノンストップで通過できる支払いシステム「M-FLOW」がようやく整備されました。

M-FLOWは高速道路を通る車の登録番号をカメラで録画し、後払いするシステムです。このシステムを利用するには、まずM-Flowのサイトでの登録が必要です。料金の支払いは、クレジットカードでの自動引落し、または、M-FLOWのアプリで払うこともできます。登録していない車の場合でも、M-Flowの車線を利用できますが、その場合M-FLOWの受付に連絡し、7日以内に料金を払わなければ、10倍の罰金が科されます。

タイでは高速道路の料金所でよく渋滞が起きますが、ノンストップのM-FLOWを利用することで流れがスムーズになり、特にラッシュ時の渋滞解消に繋がることが期待されているシステムです。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

【高速道路のM-FLOWのレーン】



【筆者撮影】

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



(5/25) 1～3月の輸出11%増、見通し上方修正
(5/25) 2022年通年成長率は3～5%の前半

マレーシア



(5/12) 4年ぶりに利上げ、2.0%に
(5/17) GDP成長率5.0%に、1～3月

タイ



(5/11) 1～3月のFDI申請29%増、台湾が1位
(5/24) 4月の車生産は13%増、国内向け好調

インドネシア



(5/10) 製造業PMI、8カ月連続で景況改善圏
(5/18) 4月輸出48%増で最高値更新、資源高続く、貿易黒字24カ月連続

フィリピン



(5/20) 中銀、0.25%利上げ、3年半ぶり、物価高を警戒
(5/25) 政府、成長率見通し引き下げ、22年7.0～8.0%、米利上げを警戒

ベトナム



(5/17) 今年のインフレ率を3.7%と予測、HSBC
(5/24) 22年成長率は5.2～6.2%、ハノイ国家大予想

〈その他NEWS〉

シンガポール



(5/9) 生体認証登録の外国人、自動入国審査が可能
(5/18) 4月の外国人入国者29万人、コロナ流行後で最多

マレーシア



(5/6) シンガポールから陸路入国、5日間で49万人
(5/25) MRT2号線、来月16日に第1期区間開業

タイ



(5/3) テストアンドゴー撤廃、利用者からは好評
(5/23) タイ政府、IPEF交渉参加の意向を表明

インドネシア



(5/13) 国際活動に通貨ルピアの使用義務付け、中銀
(5/23) 初の電動バス自動運転実証、JICA事業

フィリピン



(5/17) 3月の海外送金3.2%増、4カ月ぶり加速
(5/23) 最低賃金、各地で引き上げ、首都圏は33ペソ、一段の物価高も

ベトナム



(5/16) 4月の新車販売は40%増、旺盛な需要続く
(5/20) 外国からの借入条件を厳格化へ、国家銀

アセアン・インド休日情報

2022年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1 IN	2	3 TH	4
5	6 MY	7	8	9	10	11
12 PH	13	14	15	16	17	18 CD
19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30			

2022年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9 IN
ID 10 MY	SG 11 PH	12 MY MM	13 TH	14	15	16
17	18 JP	19 MM	20	21	22	23
24	25	26	27	28 TH	29 TH	30 IN MY
31						

2022年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 SG	10 ID	11 JP	12 TH	13
14	15 ID	16	17	18	19 ID	20
21 PH	22	23	24	25	26	27
28	29 PH	30	31 MY			

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典：ジェットロ各国情報

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア

めぶき F Gアジアネットワーク（1）

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク （フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか （メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

めぶき F Gアジアネットワーク (2)

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

